## 第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	市営住宅長寿命化対策	事業番号	35–103				
	部名	部長名	課名		課等の長		
事務事業担当	都市部	重田 浩光	建築住宅課	Ā	藤堂 勝彦		

			計	画		(Plan)				
		まちづく	り目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち					
総合計画体系	都市力	基本	政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり					
	目的ロコンプ	施策展開	の方向	16	便利で機能的な	まちをつくる				
		施	策	35	公共施設の効率	的な活用と維持管理	里・保全の推進			
予算事業名	市営住宅長寿命化対	市営住宅長寿命化対策事業費								
事務区分〔選択〕	自治事務	●自治事務			が択してください)→	法令上の位置づけ	できる規定がある			
事業開始年度	開始年度		平成25年	度以前	~	終了年度	_			
関連法令等	住生活基本法					<u> </u>				
国・県の計画等	住生活基本計画	(全国計画、	都道府県記	十画)		計画期間	全国計画 平成28年度~平成37年度 都道府県計画 平成23年度~平成32年度			
関連個別計画	伊勢原市市営住宅	宅長寿命化	計画			計画期間	平成22年度~平成31年度			
実施の背景 (事業を取りまく環境 ・市民ニーズ)	市営住宅の効率的かつ円滑な更新により、市営住宅の需要に的確に対応するため、市営住宅における長寿命化対策計画の更新及びこれに基づく予防保全的な管理、長寿命化に資する改善の推進が求められています。									
目 的 (何をどうしたいのか)	伊勢原市市営住宅長寿命化計画に基づき、計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。									
主な対象 (誰・何を対象に)	市営住宅入居者及び特に居住の安定を図る必要がある住宅困窮者									
事業内容 (手段、手法など)	市営住宅長寿命化計画に基づき、屋根防水・外壁改修工事等による、長寿命化に資する改善を進めます									
		項目			年度					
					平成30年度	令和元年	度 令和2年度			
	屋根防水改修、外壁改修				峰岸2・3号棟工事 千津工		事 三本松設計			
事業行程	その他改修				_	調査	設計			
	【指標名	3]	F TEL A.A.	<i>k</i> # 1	年度					
目標			【現状		平成30年度	令和元年	達 令和2年度			

							事	業	実	施		(D	o)				
	事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)																
				○ すべて	直接実施	施	•	左記	以外								
	実施方法 常務委託 指定管理							委託先又は指定管理者									
	G	選択・	記入〕	□ 補助金					補助先								
				✓ その他	<u>1</u>				具	体の	内容	工事施工業者					
					項目	項目				B	年度						
				屋根防水改修、外壁改修						平成30年度     令和元年度     令和2年度       峰岸住宅2号棟					医		
	実施結果			その他改修					-								
5	峰岸住宅2号棟の屋根防水・外壁改修工事を実施しました。 実施した取組の内容																
	目標の達成状況			【指標名】		【相	<b>北値</b> 】	<b>伏値】</b> 平成30年度		年度 令和元年度		令和2年度					
			<b>越成状況</b>	<b>北</b> 放工車の進転索			0%		15.8%		1,4	4H70		NAME TO	<u> </u>		
	年度 平成30年度 実績									令和:	元年度 実績			令和	2年 <b>度 実績</b>		
					46,6	56 <b>千</b> F	7			0	千円			0	千円		
		国	県支出金 ①			19,0	20 <b>千</b>	7	0			千円	0		千円		
	内	対	也方債 ②			27,4	.00 <b>千</b> F	7			0	千円	0			千円	
	訳	その	0他特財 ③				0 <b>f</b>	7	0			千円	0 =			千円	
		(a	一般財源 )-①-②-③			2	36 <b>干</b> F	<b>円</b> 0			千円	0 7			千円		
	[3	国県支	出金の内容														
7		の他	受益者負担	● 有				回の	回の改定時期 収入に基づき			毎年算定(住宅使用料)					
スト	(特)	財の日容	その他														
	人		正規職員	0.2	人	1,7	02 <b>千</b> F	7	0	人	0	千円	0	人	0	千円	
	件費	そ	の他の職員	0	人		0 <b>千</b> F	7	0	人	0	千円	0	人	0	千円	
			件費合計(b)	0.2	人	1,7	02 <b>千</b> F	7	0	人	0	千円	0	人	0	千円	
		トータ (8	タルコスト a)+(b)	48,358				7	(			千円			0	千円	
	33.		対定義象	入居者				立				単位				単位	
	当		数対象数	40													
	7	ΛF	総事業費 /対象数		50 <b>円</b>						H			円			

	Ī	平(	西	(Check)
進捗状況	<ul><li>計画どおり (A)</li><li>● 概ね計画どおり (B)</li><li>計画どおり進捗せず (C)</li></ul>	В	左記 判断 理由	峰岸住宅2号棟の屋根防水・外壁の改修工事を実施しました。
実施水準	● 他市より高い水準で実施 (A) ● 他市と同水準で実施 (B) ● 他市より低い水準で実施 (C) ● 一律に比較できない事業	_	他市事内等 等	市営住宅については、建設年度、維持管理状況などが異なるから一律に他都市と比較することは困難であると考えられます。
<b>有効性</b> 〔選択・記入〕	<ul><li>●高い (A)</li><li>●普通 (B)</li><li>●低い (C)</li></ul>	А	左記判明由	建物の耐久性に関わる屋根防水・外壁の改修工事の実施により、古い施設から順次、長寿命化を図っています。
効率性	<ul><li>効率的に実施されている (A)</li><li>改善の余地がある (B)</li><li>抜本的な改善が必要である(C)</li></ul>	А	左記 判断 理由	市営住宅長寿命化計画に基づき、交付金を活用することにより、効率的に進めています。



	取組内容の改善(Action)									
所属長による今後の方向性の判断	<b>方向性</b> 〔選択〕	<ul><li>●現状のまま継続</li><li>─見直しの上継続</li></ul>	事業推 進上の 課題	施設の老朽化が進むなか、良好な状態で維持・活用するためには、引き続き計画的に改修を進めていく必要があります。						
令和元	÷年度の取組方針			注宅3号棟の屋根防水・外壁の改修工事を実施します。 では、次期計画(令和2年度~令和11年度)10ケ年を策定します。						
所管	部長による総評	す。		原の活用やコスト削減など経済面においても有効な取組であると考えていまづき、社会資本整備総合交付金を活用し、計画的に実施していくことが必要と						